

杉並区議会議員

松本みつひろ

Vol.12

令和四年第一回定例会
杉並区議会レポート

一般質問

学童クラブについて おもて面

新たな移動手段の交通ルールについて 裏面

HPVワクチン積極的勧奨再開について 裏面

委員会質疑

保健福祉委員会(2月18日) 報告に対する質疑 中面①

予算特別委員会(3月3日～15日) 中面②

災害対策・防犯等特別委員会(2月25日)報告に対する質疑 中面④



Topic 新たな移動手段の交通ルールについて

子どもの事故予防地方議員連盟の活動を踏まえて、東京府は昨年「子どもが安全にヘルメットを着用し、ヘルメットが適切に固定されていることを確認する」という新たな交通ルールを定め、杉並区においてもこのルールを適用する必要があると見なされています。

松本：区民に広く開かれた交通安全講習会を積極的に開催し、受講者に対する認証等を行うなどの手法を通じて多くの自転車利用者に交通安全講習会の受講を促すべきと考え、見解は、**土木担当部長**：多くの方に参加していただくことが重要と考え、就業者が受講しやすい夜間に開催していただく。しかし年々受講者数が減少している状況があり、それを補うための自転車の交通ルールをYouTubeで配信するなど、誰にでも多くの機会や内容を研究する。ただ、ただの機会や内容を研究する。ただ、ただの機会や内容を研究する。ただ、ただの機会や内容を研究する。



「ヘルメットを着用する」という新たな交通ルールを定め、杉並区においてもこのルールを適用する必要があると見なされています。

Topic HPVワクチン積極的勧奨再開について

松本：都条例では子どもだけでなく、全ての自転車利用者に対し、努力義務としてヘルメットの着用を求めていると考え、区の見解は、**土木担当部長**：指摘の通り、全ての自転車利用者に対しヘルメットの着用が努力義務化されている。松本：近年の交通環境の変化を捉えた区独自の交通安全条例を制定することを提案するが、区の見解は、**土木担当部長**：自転車利用のルールやマナーは自治体に留まるものではなく、広域的な視点で考える必要がある。現時点では区独自の条例制定を望まない。松本：区職員の通勤時や拠点間移動に自転車を利用する際、ヘルメットの着用を促してはどうか、区の見解を伺う。**総務部長**：本庁舎で行っている自転車ヘルメットの貸出の周知に努めるとともに、今後は職員向けに自転車安全運転講習会においても、職員利用の啓発に努める。

Column HPVワクチンについて

HPVワクチンで防げるがんの一つである子宮頸がんは、妊孕性に直結するという点で私にとって関心の高いがんであり、HPVワクチン自治体議員連盟にも加盟しています。議連共同代表で産婦人科医でもある富山県議会の種部恭子議員から、自治体の対応として、有害事象に対する適切な受け止めと受入れ、そしてワクチンを怖がらせないためのポジティブな情報発信が重要であるとアドバイスをいただきました。HPVワクチン被害訴訟全国弁護団のホームページでは、協力医療機関を含む医療機関で原告らが詐病扱いを受けている状況が明らかにされています。こういった対応が起きないように提案したものです。WHOも2020年1月に「接種ストレス関連反応(ISRR)」という概念を提唱し、このような反応を適切に捉えて対応することを求めています。
*妊娠するための力のこと



「ヘルメットを着用する」という新たな交通ルールを定め、杉並区においてもこのルールを適用する必要があると見なされています。

Topic 学童クラブについて

杉並区は4年連続で待機児童ゼロを達成していますが、その一方で必然的に学童クラブの需要が高まると考えられています。今後は学童クラブの整備に努め、民間学童クラブを活用することで効率的・迅速に学童待機ゼロを目指すことが望ましいと考え提案しました。

●2021年4月に入学した一年生が多かった学校と、学童待機解消に向けた取組

| 小学校名 | 一年生(名) | 対策 |
|------|--------|---|
| 杉並第二 | 121 | 校舎改築に伴う仮設校舎で受け入れ拡大、新校舎完成の令和6年度さらに拡大 |
| 桃井第一 | 131 | 桃井第一小学校の敷地を活用して学童クラブ棟を整備 |
| 四宮 | 134 | 四宮森学童クラブの第二学童クラブとして今川北学童クラブを整備 |
| 荻窪 | 153 | 宮前北児童館の乳幼児室を育成室に転用し、宮前中学校の特別教室棟一階の一部を活用 |
| 高井戸 | 146 | 現在の施設内に校外育成室を残置し、増築にあわせ校内育成室を整備 |
| 浜田山 | 133 | 浜田山学童クラブの校内育成室・校外育成室を整備 |
| 天沼 | 146 | 天沼児童館の部屋の転用、上沢児童館の受入数の見直し |
| 神泉和泉 | 167 | 和泉学園学童クラブの校外育成室を整備 |

民間学童クラブの活用という考え方は理解されたいように感じますが、実態が把握できないので先に進めないという状況がわかりました。実態の把握を進め、民間事業者間の健全な競争によって子どもの放課後の環境がより良いものになるよう、引き続き取り組んでいきます！

20名以上の待機児童が発生している学童クラブ
和泉学園学童クラブ
宮前北学童クラブ
井草学童クラブ
桃井学童クラブ
善福寺学童クラブ
(令和3年4月時点)

プロフィール Profile

1983(昭和58)年9月1日生まれ。早稲田大学法学部卒業後リクルートに入社、「SUUMO」で9年間などITの営業部門を歴任。2009年に杉並区荻窪に転入、2011年に転勤で仙台へ。その後札幌での勤務も経験し、2015年に荻窪に戻る。2018年生まれの双子男児と妻との4人暮らし。

地域では荻窪消防団第5分団に所属し、荻窪南口大通り親交商店会の副会長を務める。日本維新の会広報局、東京維新の会事務局長。現在杉並区議会議員1期目。自民・無所属・維新クラブ(交渉会派)に所属。その他、保健福祉委員会副委員長、災害対策・防犯等特別委員会、ICT活用検討推進委員会、杉並区情報公開・個人情報保護審議会、杉並区国民健康保険事業の運営に関する協議会等に所属。東京若手議員の会副代表(23区西部、性教育・不妊治療プロジェクト担当)、子どもの事故予防地方議員連盟事務局長。



杉並区議会レポート 中面に続きます

※年齢・性別や障壁に関係なく、あらゆる人が読みやすいように設計されたUDフォントを使用しています